

はばたき



1年間ありがとうございました

年が明けて3学期が始まったと思っていたら、あっという間に3月になりました。はばたきでの指導も、3月16日(木)が最終日となります。3月は1年間の学習の振り返りをしています。児童自身が自分の成長を感じ、パワーアップして次の学年へ進級できるよう、最後まで児童に寄り添いながら指導・支援をしてまいります。保護者の皆様には、1年を通して、連絡ファイルの確認や、面談等へのご理解とご協力をいただきありがとうございました。

個人面談ありがとうございました。🐦

2月の上旬より実施しておりました、はばたき面談が終わりました。この1年間での子供たちの成長や、これからの課題、ご家庭での様子などを保護者の皆様と共有することができ、短い時間ではありましたが、大変有意義な時間となりました。お忙しい中、お越しくださりありがとうございました。

お知らせ と お願い 🐦

現在使っているはばたきファイルを、来年度も使用します。そのため、はばたきの指導最終日に、はばたきファイルを回収します。(はばたきを退室する児童・6年生の児童のはばたきファイルは回収いたしません。ご自宅で保管してください。)

❖はばたき最終日・・・ワークプリント等は、貸出用のクリアファイルに入れてお渡しします。
新学期のはばたきの指導開始日に、クリアファイルを必ず返却してください。



外したプリント類は、
クリアファイルに
入れて渡します!



回収します!

❖貸出用のクリアファイルを使用した際の返し忘れが多くなっています。ご自宅に返し忘れのクリアファイルがありましたらご返却ください。よろしくお願いいたします。

新学期 4月の予定 🐦

4月6日(木) 始業式
4月20日(木) はばたき指導開始

はばたき指導開始日前に、新年度の担当者から通室曜日と時間を入れたお知らせと、はばたきファイルをお渡しします。

裏面に続く



はばたき TEATIME



テーマ：自尊感情

今回で、本年度のはばたき TEATIME 最終号となります。いつもお読みいただきありがとうございました。

さて、最終号のテーマは「自尊感情」です。自尊感情とは、自己肯定感ともいわれる概念で、「自分自身を尊重し、価値のあるものとみなす感覚」です。シンプルにいうと、自分が好きで自分に自信があるということです。現在は自尊感情の高低が問題ではなく、高くなったり低くなったりしてしまう自尊感情の不安定さに焦点をあてることも必要とされています。

今回は自尊感情を向上させる言葉かけのコツを2つに分けてご紹介します。お子さんと関わる中で参考にしてみてください。

承認（認める）の言葉をかける



○すごいね ○さすがだね ○いいね

上記3つの言葉の使い方のコツとしては、「軽く、明るく、さりげなく」使うことです。大げさで不自然な褒めの姿勢に、子供たちが違和感を覚えることはないでしょうか。「軽く、明るく、さりげなく」認めることで、相手への刺激も小さく、飽きられることも少ないので、子供のやる気向上や自尊感情を高めるには最適な言葉でもあります。親御さんや周囲の人に「ありのままを認められた子供」は、ますますみんなに認められようと努力を重ねていきます。

はばたきでは、児童の実態や状況に応じて適切な行動の直後に承認（認める）言葉をかけたり、グーやオッケーのサインなどで伝えたりするなどの工夫をし、自尊感情の向上につなげています。

感謝の言葉をかける



○ありがとう ○うれしい ○助かった

これら3つの言葉は、感謝の気持ちや喜びという「感情」を伝える言葉です。例えば、「新聞をとってきてもらえる？」「お花に水をあげてくれる？」など、たくさん小さな頼みごとをしてみてください。

その際に、感謝の言葉は「機会があれば必ず言うよ」と心がけるだけでなく、ぜひ積極的に「ありがとう」と言えるシチュエーションを作るように心がけてください。

子供は「誰かの役に立っている」「貢献できている」と思えたときに、自分が必要な人間であることを実感します。また、誰かから「ありがとう」「うれしい」「助かった」と言われることで、人に喜ばれることの幸せを学びます。はばたきの学習では、友達や先生から「ありがとう」と言われる機会や場面を意図的に設定し、「誰かに貢献できた」「次もありがとうと言われたい」という動機付けにつなげています。



参考文献：特別支援教育の理論と実践-Ⅱ指導<特別支援教育士資格認定協会>
子どもの自己肯定感を高める10の魔法のことは<集英社>
画像引用：いらすとや